

第84回教育研究評議会議事要録

日 時 平成23年9月12日（月）14時00分開会～16時50分開会

場 所 本部5階大会議室

欠席者 野村評議員，横田評議員

陪席者 山崎監事，宮脇監事

議事に先立ち，第83回教育研究評議会の議事要録が承認された。

議題1. 島根大学キャリアセンター規則及び島根大学キャリアセンター運営委員会規則の一部改正について

議長から，本件は，キャリアセンターにおける就職支援体制及びキャリア教育体制の強化，並びにキャリアセンター長の負担軽減を図ることを目的に，同センターに新たに副センター長を置くことに伴う関係規則の改正について審議願うものであり，7月21日開催のキャリアセンター運営委員会で承認されている旨及び規則の改正内容について説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

議題2. 名誉教授の称号授与について

議長から，本件は，本年6月開催の本評議会において，教育研究評議会評議員の在任期間を教授等としての在職期間に通算できるよう名誉教授称号授与規則の運用に関する申し合せを改正したことに伴い，新たに授与資格を満たしたため，本年3月31日付けで退職された法文学部 加藤克夫 教授に対し，名誉教授称号授与規則に基づき，平成23年10月1日付けで本学名誉教授の称号を授与することについて審議願うものである旨が述べられた。

続いて，武田法文学部長から推薦理由等について説明があった後，審議の結果，原案どおり承認された。

議題3. 医学部長の選考について

議長から，本件は，現医学部長の任期が平成23年9月30日で満了となることに伴い，後任の医学部長を選考するものであり，医学部から大谷 浩教授を候補者として選考した旨の申し出があったので，本評議会において審議願うものである旨が述べられ，審議の結果，原案どおり承認された。

議題4. 総合理工学部長の選考について

議長から，本件は，現総合理工学部長の任期が平成23年9月30日で満了となることに伴い，後任の総合理工学部長を選考するものであり，総合理工学部から服部泰直教授を候補者として選考した旨の申し出があったので，本評議会において審議願うものである旨が述べられ，審議の結果，原案どおり承認された。

議題5. ミュージアム館長の選考について

議長から，本件は，現ミュージアム館長の任期が平成23年9月30日で満了となることに伴い，後任のミュージアム館長を選考するものであり，ミュージアムから教育学部 林 正久教授を候補者として選考した旨の申し出があったので，本評議会において審議願うものである旨が述べられ，審議の結果，原案どおり承認された。

議題6. 懲戒処分の審査について

生物資源科学部の60歳代教授による本学女子学生に対するセクシャル・ハラスメント行為に係る懲戒処分の審査が行われ、審査の結果、諭旨解雇処分とすることを決定した。

なお、本件は、国立大学法人島根大学教育研究評議会が行う審査に関する要項第11に基づき、非公開により、報告事項終了後に審査が行われた。

議題7. 教員の休職の延長について

議長から、本件は、現在休職中の教員について、法文学部から休職期間を延長したい旨の申し出があったため、審議願うものである旨及び審議が事後となった経緯等について説明があった。

続いて、武田法文学部長から、これまでの経過等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題8. 学生の懲戒について

学生の懲戒処分2件について審議が行われ、審議の結果、前期の小テストにおいて不正行為を行った学生については停学3週間、島根県迷惑行為防止条例違反で逮捕された学生については停学6週間とすることを決定した。

報告事項

報告事項2. 広島オフィスの開設について、学長から報告があった。

報告事項3. 「島根大学における学士課程教育の構築に向けて - 教育の質保証システムの枠組み -」について、三宅副学長から、本答申に対し提出された意見の概要について報告があり、今後、教育の質保証に係る全学委員会の設置に向け、教育改革・質保証特別委員会において作業を進めること、また、提出された意見については、全学委員会設置の中で反映させたい旨の説明があった。

報告事項4. 科学研究費補助金の獲得に向けた取り組みについて、柴田副学長から本年度の本学の科学研究費補助金の獲得状況及び今後の改善方策等について説明があり、続いて、学長から獲得額及び採択件数の増加に向け改善方策の積極的な推進について依頼があった。

報告事項5. 2011大学と企業の懇談会について、足立副学長から説明があった。

報告事項6. オープンキャンパスの参加状況について、三宅副学長から報告があった。

報告事項7. ホームカミングデーの開催について、宅和副学長から説明があった。

報告事項8. 教育研究評議会におけるペーパーレス化の試行について、総務課長から、10月及び12月開催の評議会において、開催通知のメール配信及び会議資料のWeb掲載等の方法により、ペーパーレスによる会議運営を試行する旨説明があった。

報告事項その他. 公的研究費等の不適切な経理の有無に関する調査の実施について、財務課長から説明があった。